

令和9年度 理工学部 総合型選抜 学生募集要項

試験区分	総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	
プログラム名	地域協創ものづくりプログラム	地域防災・まちづくりプログラム
対象コース	電気電子・情報通信コース 機械知能航空コース	社会基盤・環境工学コース
出願受付期間	令和8年9月1日(火)～令和8年9月4日(金)	
第1次選考	＜書類審査＞	
第1次選考結果発表	令和8年9月17日(木)	
第2次選考	令和8年10月2日(金)	
合格発表	令和8年11月2日(月)	

試験区分	総合型選抜Ⅱ【女子枠】（大学入学共通テストを課す）	
対象コース	電気電子・情報通信コース，機械知能航空コース	
出願受付期間	令和8年9月1日(火)～令和8年9月4日(金)	
第1次選考	令和8年10月2日(金)	
第1次選考結果発表	令和8年11月2日(月)	
第2次選考	(大学入学共通テスト)	
合格発表	令和9年2月9日(火)	

※クリエイティブ情報コースでも総合型選抜Ⅱを実施します。

当該コースの学生募集要項は9月以降に公表の予定です。

出願受付期間：10月下旬予定 試験日：11月下旬予定

岩手大学

目 次

I	岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	1
II	理工学部入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	1
III	総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）	7
1	趣旨	7
2	募集人員	7
3	出願資格及び出願要件	7
4	出願手続	7
5	選抜方法等	9
6	受験上の注意	11
7	不正行為	12
8	合格者の発表	12
9	入学手続等の概要	12
10	合格者の留意事項	13
IV	総合型選抜Ⅱ【女子枠】（大学入学共通テストを課す）	14
1	趣旨	14
2	募集人員	14
3	出願資格及び出願要件	14
4	出願手続	14
5	選抜方法等	16
6	面接試験受験上の注意	17
7	面接試験における不正行為	17
8	合格者の発表	18
9	入学手続等の概要	18
10	合格者の留意事項	18
V	障がい等を有する入学志願者との事前相談	19
VI	長期履修制度	20
VII	個人情報の取り扱い	20
VIII	出願書類等の記入要領	21
IX	建物配置及び試験場案内図	27

I 岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

岩手大学は、地域における知の府としての役割を果たす教育研究の場として、国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成に取り組んでいます。

そのために、高等学校等における幅広い学びから育成される基礎的な知識と思考力に加えて、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

- 真理の探究や課題の解決に向けて主体的に取り組む姿勢
- 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップ
- 自然や人を思いやる心と倫理性
- 豊かな発想とチャレンジ精神、そしてコミュニケーション能力

入学者の選抜は、一般選抜（前期日程・後期日程）、総合型選抜（Ⅰ・Ⅱ・私費外国人留学生選抜）、学校推薦型選抜の各選抜区分により実施します。（編入学試験を除く。）

各選抜にあたっては、学力の3要素（(1)知識・技能、(2)思考力・判断力・表現力等の能力、(3)主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度（主体性・多様性・協働性））を多面的、総合的に評価します。

II 理工学部入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

1 学部概要

我が国が目指す未来社会で必要とされる情報リテラシーと確かな専門性を併せ持ち、地球環境問題をはじめとする国際社会ならびに地域社会が抱える諸課題の解決に貢献できる理工系人材を育成します。

2 入学者に求める資質

＜理工学部・理工学科共通＞

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、より広い教養と深い専門性を身に付けたいという意欲を持つ人
- ・ 理工学分野の専門の学修を始めるのに必要な知識と技能を獲得している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ、論理的な思考に基づく適切な判断ができるとともに、それを適切に他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 自らが選択する専門分野の学修に、主体的に取り組もうとする人
- ・ 大学での学びのなかで、広く社会との関わりに関心を持ち、積極的に多様な人々と協働しようとする人

＜クリエイティブ情報コース（総合型選抜）＞

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、情報デザインに強い関心を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ、創造的な思考・判断ができるとともに、それを他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 情報や情報技術について学んだことを主体的に活用しようとする人
- ・ 多様な価値観を理解し、様々な分野の人と協働しようとする人

<クリエイティブ情報コース（総合型選抜（女子枠））>

予 定

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、情報デザインに強い関心を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ、創造的な思考・判断ができるとともに、それを他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 情報や情報技術について学んだことを主体的に活用しようとする人
- ・ 多様な価値観を理解し、様々な分野の人と協働しようとする人
- ・ 理工学分野における女性の活躍の意義を理解し、社会の多様性を尊重しながら、積極的に他者と協働しようとする人

<電気電子・情報通信コース、機械知能航空コース（総合型選抜（女子枠））>

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、より広い教養と深い専門性を身に付けたいという意欲を持つ人
- ・ 理工学分野の専門の学修を始めるのに必要な知識と技能を獲得している人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ、論理的な思考に基づく適切な判断ができるとともに、それを適切に他者に表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 自らが選択する専門分野の学修に、主体的に取り組もうとする人
- ・ 理工学分野での女性の活躍が社会的にもつ意義を理解し、社会の多様性を尊重しながら、積極的に他者と協働することを目指す人

<データサイエンス応用オープンクラス（一般選抜・前期日程）>

【知識・技能】

- ・ 高等学校卒業にふさわしい一般基礎学力を修得しているとともに、データサイエンスに強い関心を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 修得した知識と技能を組み合わせ、創造的な思考・判断ができるとともに、情報系技術を活用してそれらを表現することができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ データサイエンスについて学んだことを主体的に活用しようとする人
- ・ 多様な価値観を理解し、様々な分野の人と協働しようとする人

<地域協創ものづくりプログラム（総合型選抜）>

【知識・技能】

- ・ 工学を学ぶために必要な基礎的な学力を持つ人
- ・ ものづくりに対する経験を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ ものづくりを実践するために必要な思考力と判断力を持つ人
- ・ ものづくりを実践するために必要なコミュニケーション能力を持つ人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ ものづくりに関心を持ち、独自技術を開発したいという意欲を持つ人
- ・ 地域課題に関心を持ち、主体性を持って協働できる人

＜地域防災・まちづくりプログラム（総合型選抜）＞

【知識・技能】

- ・ 防災・まちづくりに関する専門分野を学ぶうえで必要な基礎的な知識や技能を持つ人

【思考力・判断力・表現力等の能力】

- ・ 災害に強い社会の実現のために、防災・まちづくりの専門分野に関連する課題を発見・探求できるような豊かな思考力を持ち、広い視野で適切に判断できる力を持つ人
- ・ 周囲とコミュニケーションを円滑にとることができ、必要な相手に防災・まちづくりの専門分野に関連する様々な内容を正確に表現し、伝えることができる人

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）】

- ・ 自然と調和しながらも災害に強い社会の構築のために、防災・まちづくりに関する様々な課題に関心を持ち、新しい課題を解決しようとする意欲を持つ人
- ・ 防災・まちづくりに関する様々な地域課題において、主体的に創造性豊かな発想ができ、マネジメント力を持つ人

3 入学前に修得しておくことを期待する内容

- ・ 数学：「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」「数学A」「数学B」「数学C」の内容の理解と数学的思考力（高等学校で修得していない科目がある場合は、入学後に理工学部が開講する高大連携科目の履修が必要となります。）
- ・ 理科：「化学基礎・化学」「物理基礎・物理」などの内容の理解と科学的思考力（化学コースへの進級を考えている方には、「生物基礎・生物」の内容も修得していることを期待します。）
- ・ 国語、英語：国際社会で活躍する人材の素養としての読解力、思考力、およびコミュニケーション能力
- ・ 情報：「情報Ⅰ」の内容の理解と情報活用能力
- ・ その他：教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史、倫理、政治経済、現代社会などの素養と社会事象に対する関心や探究心

4 入学者選抜の基本方針

（ア）一般選抜（前期日程・後期日程）

入学後の教養教育・専門教育に対応できる知識とその展開力、および理工学部学生としての自然科学全般への俯瞰的視野を重視し、理科系・文科系にわたる幅広い知識と理数系に対する深い思考力および判断力を持つ人を総合的に選抜します。大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価し、調査書による「主体性・協働性」の評価と総合して選抜します。なお、データサイエンス応用オープンクラスでは、大学入学共通テストにおける情報Ⅰの成績を重視します。

（イ）学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課さない）

口頭試問または基礎能力試験で主に「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価し、調査書によって「知識・技能」「主体性・協働性」を評価し、個人面接による「関心・意欲」の評価も併せて総合的に評価します。選抜にあたっては専門分野への関心・意欲も重視します。

（ウ）総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

・地域協創ものづくりプログラム

第1次選考は書類審査を行います。提出された自己推薦書・志望理由書により、「思考力・判断力・表現力等の能力」および「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」といった本プログラムで学ぶにふさわしい基本的な素養を評価します。調査書では大学での勉学の基礎となる「知識・技能」を評価します。第2次選考は面接とプレゼンテーションを行います。個人面接の口頭試問では「知識・技能」をより詳細に評価します。プレゼンテーションでは「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を重点的に評価するとともに「思考力・判断力・表現力等の能力」につ

いても併せて評価します。

本選抜においては、工業に関する学科を卒業見込とする者も対象とし、各専門分野への強い関心と必要な基礎学力を持つとともに、「主体性のあるものづくり経験が豊富な学生」の受入を目的としています。

・地域防災・まちづくりプログラム

第1次選考は、調査書および自己推薦書を基に評価します。第2次選考は、面接（口頭試問を含む）およびプレゼンテーションを基に評価します。第1次選考と第2次選考の2段階にわたって「適性・構想力・論理的な思考力」、「意欲および一定以上の基礎学力」と「主体性・協働性」を重点的に評価し、防災・まちづくりに対するこれまでの活動の経験・実績、または興味・関心事項などを基に「表現力・情報収集能力・コミュニケーション能力」を総合的に評価します。

（エ）総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

・クリエイティブ情報コース

プレゼンテーション試験では、提出された調査書とプレゼンテーションにより「関心・意欲」及び「主体性・協働性」について評価するとともに、クリエイティブ情報コースで学ぶにふさわしい「表現力・コミュニケーション能力」を重点的に評価します。学力検査では、大学入学共通テストにより、クリエイティブ情報コースで学ぶにふさわしい「知識・技能」を評価します。選抜は、プレゼンテーション試験と学力検査の結果を総合的に判断します。

・電気電子・情報通信コースおよび機械知能航空コース

面接試験では、電気電子・情報通信コース、もしくは機械知能航空コースで学ぶにふさわしい「考察力・表現力・コミュニケーション能力」や、それぞれの専門を学ぶ上で必要とされる適性を評価します。また、岩手大学で学びたいことや、自身の将来像をふまえた志望動機について、論理的かつ明快に説明する能力により「関心・意欲」及び「主体性・協働性」について評価します。学力検査では、大学入学共通テストにより、電気電子・情報通信コース、もしくは機械知能航空コースで学ぶにふさわしい「知識・技能」を評価します。

（オ）私費外国人留学生選抜

大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します

（カ）その他（第3年次編入学試験）

高等専門学校や短期大学理工系学部を卒業、または、大学の理工系学部などの教育機関に2年次まで就学し、さらに高度な専門性を身に付けようとする意欲的な学生を求めます。学力試験（英語（外部検定活用）、専門科目（筆記試験または口頭試問）または数学（筆記試験））および面接を総合して選抜します。なお機械知能航空コースでは在学中の成績の提出を求め、選考資料とします。

別表 選抜に活用する選抜方法の内容とその評価項目

(1) 選抜に活用する選抜方法の内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	筆記試験により「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価します。
教科・科目に係る個別テスト	一般（前期） 一般（後期） 編入学試験	筆記試験により「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価します。
個人面接	学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学試験	志望理由等について面接を行い、提出書類に関する確認を行います。理工系科学者・技術者として将来社会に貢献する意欲等も評価します。
個人面接（口頭試問を含む）	学校推薦型 総合型Ⅰ 編入学試験	面接および口頭試問により志望理由を確認するとともに、基礎学力を評価します。編入学試験においては、専門分野の学修に必要とされる専門知識を評価します。
基礎能力試験	学校推薦型	高等学校等での学習内容に関する基礎知識や思考力を評価します。
プレゼンテーション	総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	出題された課題に対するプレゼンテーションを通して、志望するコースやプログラムに対する「関心・意欲」「思考力・判断力」「表現力・コミュニケーション能力」「主体性・創造性・協働性」を総合的に評価します。
日本留学試験	私費外国人留学生	日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」を評価します。
出願理由書・志望理由書	学校推薦型 総合型Ⅰ 私費外国人留学生	志望理由が、入学者受入の方針に合致しているかを評価します。
推薦書・自己推薦書	学校推薦型 総合型Ⅰ	専門の学修に対する適性と意欲について総合的に評価します。
調査書	一般（前期） 一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	「主体性・協働性」について評価するとともに、総合判定の資料として活用します。
成績証明書・調査書	編入学試験 （機械知能航空コースのみ）	基礎学力を確認するために、成績証明書と調査書を用い、高等専門学校や短期大学等での生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）を併せて総合的に評価します。
TOEIC Listening & Reading Test	編入学試験	英語の学力を評価します。

(2) 選抜に活用する選抜方法の重点評価項目（入学者選抜方法と求める学生像との関係性）

学力の3要素・ 評価項目 選抜方法等	該当選抜区分	(1)知識等	(2)思考力等		(3)主体性等	
		知識・ 技能	思考力・ 判断力	表現力	関心・ 意欲	主体性・ 協働性
大学入学共通テスト	一般（前期） 一般（後期） 総合型Ⅱ	◎	○			
教科・科目に係る個別テスト	一般（前期） 一般（後期） 編入学試験	◎	○			
個人面接	学校推薦型 総合型Ⅱ 編入学試験			○	◎	○
個人面接（口頭試問を含む）	学校推薦型 総合型Ⅰ 編入学試験	◎	○	○	◎	○
基礎能力試験	学校推薦型	○	◎	◎		
プレゼンテーション	総合型Ⅰ		◎	◎	○	○
	総合型Ⅱ		◎	◎	◎	◎
出願理由書・志望理由書・（自己）推薦書	学校推薦型			○	◎	○
	総合型Ⅰ				◎	○
	私費外国人留学生				◎	○
日本留学試験	私費外国人留学生	◎	○			
調査書	一般（前期） 一般（後期） 学校推薦型 総合型Ⅰ 総合型Ⅱ	○	○	○	○	◎
成績証明書・調査書	編入学試験（機械知能 航空コースのみ）	◎	○			○
TOEIC Listening & Reading Test	編入学試験	◎				

※一般選抜（前期日程）、一般選抜（後期日程）において調査書は、総合判定の資料として活用します。

Ⅲ 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

1 趣 旨

地域協創ものづくりプログラム及び地域防災・まちづくりプログラムでは、入学者受入の方針に基づき、多様な観点から総合的に評価する総合型選抜Ⅰを実施します。

2 募集人員

プログラム名	対象コース	募集人員
地域協創ものづくりプログラム	電気電子・情報通信コース 機械知能航空コース	5名
地域防災・まちづくりプログラム	社会基盤・環境工学コース	5名

3 出願資格及び出願要件

(1) 出願資格

高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を令和9年3月に卒業見込みの者（令和8年度中に高等学校の卒業を認められた者を含みます。）又は通常の課程による12年の学校教育を令和9年3月に修了見込みの者

(2) 出願要件

○ 地域協創ものづくりプログラム

次の①②を全て満たす者

- ① 地域協創ものづくりプログラムでの勉学に意欲があり、合格した場合は入学することを確約できる者
- ② 出身学校において、「物理基礎，理数物理」から1科目以上及び「化学基礎，理数化学，科学と人間生活」から1科目以上を履修している者

○ 地域防災・まちづくりプログラム

次の①②を全て満たす者

- ① 自身の活動実績，明確な志望動機や自己アピール力を有する者で，合格した場合は入学することを確約できる者
- ② 出身学校において，次のア，イいずれかの科目を履修している者
ア「物理基礎，化学基礎，生物基礎」から2科目以上及び「物理，化学，生物」から1科目以上
イ「理数物理，理数化学，理数生物」から2科目以上

4 出願手続

(1) 出願方法

志願者は，(4)の出願書類等を取りそろえ，所定の出願書類等提出用封筒に入れて「速達書留」で郵送してください。「速達書留」はポスト投函では利用できませんので，必ず郵便局窓口で手続をしてください。なお，持参による出願は認めません。

(2) 出願書類等送付先

岩手大学学務部入試課
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

(3) 出願受付期間

令和8年9月1日（火）から9月4日（金）まで【必着】
出願書類の提出は郵送のみとします。郵送にかかる日数を十分に考慮し出願してください。

(4) 出願書類等

①志願票	・ 所定の用紙に志願者本人が記入してください。志願票は、電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。 ・ 21ページ以降の記入要領を参照してください。
②写真票・受験票・入学検定料納入確認票	・ 写真票には、写真（縦4cm×横3cm）を貼ってください。 ・ 太線枠内に、志願者本人が記入してください。 ・ 検定料17,000円（別途払込手数料がかかります。）を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください。（ATMは利用しないでください。） ・ 払込後、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を日附印欄の押印を確認の上、所定の欄に貼ってください。 ・ 検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。 ・ 災害救助法適用地域における志願者の検定料免除については、「(7)検定料免除」を確認してください。
③調査書	・ 文部科学省所定の様式で、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
④自己推薦書	・ 所定の用紙に、「5 選抜方法等」（9～11ページ）をよく読んで作成してください。
⑤志望理由書	・ 地域協創ものづくりプログラムに出願する者は、所定の用紙に、「5 選抜方法等」（9ページ）をよく読んで作成してください。
⑥受験票送付用封筒	・ 所定の封筒に志願者本人のあて先を明記し、410円分の切手（速達料金）を貼ってください。郵便料金が改定された場合は、料金改定後の郵便切手が必要になりますので注意してください。
⑦ラベル票	・ 所定のラベル票用紙に必要事項を志願者本人が記入してください。 ・ 26ページの記入要領を参照してください。
⑧その他の書類	・ 検定料免除を申請する者は、検定料免除申請書と必要な書類をそろえて提出してください。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 受理した出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。
- ② 出願書類等に次のような不備のあるものは受理しませんので、注意してください。
 - ア 記入漏れ、誤記入のあるもの
 - イ 検定料に不足のあるもの
 - ウ その他、提出すべき書類等が添付されていないもの
- ③ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

(6) 受験票の交付

出願書類が受理された志願者には、受験票を交付します。

受験票が令和8年9月10日(木)を過ぎても到着しない場合は、岩手大学学務部入試課（☎ 019-621-6064）に問い合わせてください。

(7) 検定料免除

岩手大学では、災害救助法適用の災害により被災した方が、経済的な理由により大学進学を断念することがないように、検定料について免除措置を行います。出願手続の際に一緒に申請手続を行ってください。

申請手続等の詳細については、岩手大学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html>）を確認の上、岩手大学学務部入試課（☎019-621-6064）に問い合わせてください。

5 選抜方法等

○ 地域協創ものづくりプログラム

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び本学において実施する教科・科目に係る個別テストを免除し、第1次選考及び第2次選考により行います。

(1) 第1次選考（書類審査）

① 選考方法

出願時に提出する下記書類により、学修に対する適性と意欲を評価します。

・調査書

・自己推薦書（様式1-1）

これまでの活動や経験に基づいて、地域協創ものづくりプログラムで勉強する適性と意欲を備えていることのアピールを記述してください。（400字程度、志願者自筆）

・志望理由書（様式2）

下記ア、イについて記述してください。（各400字程度、志願者自筆）

ア 地域協創ものづくりプログラムへの進学を希望する理由

イ 大学卒業後の進路・将来の希望

出願書類に関する配点は、調査書100点、自己推薦書100点、志望理由書100点の合計300点とします。

② 評価基準

項 目	評 価 基 準
調 査 書	高校2年生までの成績の平均を100点満点に換算して評価します。
自己推薦書	本プログラムで勉強する適性と意欲について総合的に評価します。
志望理由書	本プログラムへの進学希望理由およびキャリアデザイン（仕事に関する将来設計）が本プログラムの目的に合致しているかどうかを総合的に評価します。

③ 合否判定基準

合計点の高い順に合格とします。

④ 第1次選考結果の発表

受験者には郵便により選考結果通知書を送付するとともに、第1次選考合格者の受験番号を次により発表します。

選考結果発表の日時	発 表 方 法
令和8年9月17日（木） 13時	本学ウェブサイトによる発表 https://www.iwate-u.ac.jp/

※ 合否の問い合わせには、一切応じません。

第1次選考合格者には、第2次選考におけるプレゼンテーションのテーマ等の詳細及び選考に関する通知書を同封します。

第1次選考不合格者には、検定料の一部（13,000円）を返還します。検定料返還手続書類を同封しますので、内容を確認して、返還手続きをしてください。

(2) 第2次選考

① 試験日程

9時までに試験場に集合してください。（27ページのⅨ 建物配置及び試験場案内図参照）

試 験 日	事 項	時 間	試 験 場
令和8年10月2日（金）	面接（口頭試問を含む）	9：30～12：00	岩手大学理工学部
	プレゼンテーション	13：00～16：00	

② 試験内容

第1次選考の合格者に対して下記の検査等を実施し、基礎学力・論理的な思考力・情報収集能力・ものづくりに対する興味等を総合的に評価します。

・面接（口頭試問を含む）

口頭試問の対象となる教科（科目）は、数学（数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B）です。

数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。

・プレゼンテーション

プレゼンテーションのテーマの例

ソフトウェアの制作，ロボット競技会への参加など，これまで主体的に取り組んだものづくりに関する発表。

プレゼンテーションの時間は，発表10分，質疑応答10分を目安とします。

配点は面接（口頭試問を含む）350点，プレゼンテーション350点の合計700点とします。

③ 評価基準

項 目	評 価 基 準
面接（口頭試問を含む）	基礎学力，専門分野への関心，理解力，適性，意欲について総合的に評価します。
プレゼンテーション	構想力，表現力，独創性，コミュニケーション能力を総合的に評価します。

④ 合否判定基準

第1次選考及び第2次選考の合計点（合計1000点）の高い順に合格とします。

○ 地域防災・まちづくりプログラム

入学者の選抜は，大学入学共通テスト及び本学において実施する教科・科目に係る個別テストを免除し，第1次選考及び第2次選考により行います。

(1) 第1次選考（書類審査）

① 選考方法

出願時に提出する下記書類により選考を行います。

・調査書

・自己推薦書（様式1－2）

下記ア，イ，ウについて記述してください。

ア 防災・まちづくりに関するこれまでの活動の経験・実績，または興味・関心事項に基づいて，地域防災・まちづくりプログラムで学ぶ適性と意欲を備えていることのアピールを記述してください。（800字程度，志願者自筆）

イ 社会基盤・環境工学コースの教育課程の修得に加え，地域防災・まちづくりプログラムでの専門性を深めることを希望する理由について記述してください。（600字程度，志願者自筆）

ウ 在学中や卒業後の社会における活動の計画・抱負等を記述してください。（600字程度，志願者自筆）

② 評価基準

項 目	評 価 基 準
調 査 書	基礎学力を評価します。
自己推薦書	本プログラムで学ぶ適性，構想力，論理的な思考力を評価します。

③ 第1次選考結果の発表

受験者には郵便により選考結果通知書を送付するとともに、第1次選考合格者の受験番号を次により発表します。

選考結果発表の日時	発表方法
令和8年9月17日（木） 13時	本学ウェブサイトによる発表 https://www.iwate-u.ac.jp/

※ 可否の問い合わせには、一切応じません。

第1次選考合格者には、第2次選考に関する通知書を同封します。

第1次選考不合格者には、検定料の一部（13,000円）を返還します。検定料返還書類を同封しますので、内容を確認して、返還手続きをしてください。

(2) 第2次選考

① 試験日程

9時までに試験場に集合してください。（27ページのⅨ 建物配置及び試験場案内図参照）

試験日	事項	時間	試験場
令和8年10月2日（金）	面接（口頭試問を含む）	9：30～12：00	岩手大学理工学部
	プレゼンテーション	13：00～16：00	

② 試験内容

第1次選考合格者に対して、面接（口頭試問を含む）及びプレゼンテーションを実施します。

・面接（口頭試問を含む）

口頭試問の対象となる教科（科目）は、英語、理科（物理基礎、化学基礎の2科目）、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C）です。数学Aの出題範囲は「図形の性質」と「場合の数と確率」とします。数学Bの出題範囲は「数列」とします。数学Cの出題範囲は「ベクトル」とします。

・プレゼンテーション

プレゼンテーションのテーマは「防災・まちづくりに関するこれまでの活動の経験・実績、または興味・関心事項と今後の計画」とします。

プレゼンテーションの時間は、発表10分、質疑応答10分を目安とします。

③ 評価基準

項目	評価基準
面接（口頭試問を含む）	本プログラムで学ぶ意欲及び一定以上の基礎学力を評価します。
プレゼンテーション	構想力、表現力、論理的な思考力、情報収集能力、コミュニケーション能力を総合的に評価します。

④ 可否判定基準

第2次選考の得点の高い順に合格とします。

6 受験上の注意

- (1) 「本学の受験票」は必ず携帯し、係員の請求があった場合は、これを提示してください。
- (2) 試験場には駐車場はありませんので、公共の交通機関を利用してください。
- (3) 試験場の下見は10月1日（木）としますが、建物の中に入ることはできません。
- (4) 試験場では携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類の使用を認めませんので、

必ず電源を切ってください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず身につけていたり手に持っていたりすると、不正行為となることがあります。

- (5) 自然災害、悪天候等により、指示された時刻までに試験場に到着できない場合は、受験票に記載してある緊急時の問い合わせ先まで連絡してください。
- (6) 集合時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めますので、集合時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。
- (7) 試験場で不正行為を行った者や、監督者の指示に従わない者には退場を命じ、受験結果を全て無効とします。
- (8) 昼食は各自で用意し、受験者控室で食事をしてください。

7 不正行為

- (1) 次のことをすると不正行為となります。

不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した岩手大学入学試験のすべての成績を無効とします。

- ① 志願票、写真票・受験票・入学検定料納入確認票、答案へ故意に虚偽の記入をすること。(写真票に本人以外の写真を貼ることや、答案に本人以外の名前・受験番号を記入する等)
- ② カンニングをすること。(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等)
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、(1)と同様です。

- ① 試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に、携帯電話や時計等の音(着信・アラーム等)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

8 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

合格発表の日時	発表方法
令和8年11月2日(月) 13時	本学ウェブサイトによる発表 https://www.iwate-u.ac.jp/

※ 合否の問い合わせには、一切応じません。

9 入学手続等の概要

入学手続等の概要は、次のとおりとし、詳細については合格者に送付する「入学手続のしおり」で指示します。

なお、入学手続は郵送のみとします。

(1) 入学手続締切期日

令和8年11月12日（木）【必着】

(2) 大学納付金（登録番号 T6400005002202 国立大学法人岩手大学）

① 入学料 282,000円（予定額）非課税

② 授業料 年額 535,800円〔前期分267,900円 後期分267,900円〕（予定額）非課税

※ 上記納付金は予定額であり，入学時及び在学中に納付金額の改定が行われた場合には，改定時から新たな納付金額が適用されます。

(3) 入学料及び授業料の免除等制度

本学では，下記のとおり入学料及び授業料の免除等を実施しています。

詳細は本学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/campus/fee/exemption.html>）をご覧ください。

① 高等教育の修学支援新制度による入学料免除と授業料免除

高等教育の修学支援新制度による入学料免除と授業料免除を実施します。

② 入学料の徴収猶予

経済的理由によって入学料の納入が納入期限までに困難であり，かつ学業優秀と認められる場合，入学前1年以内に，本人の学費を主として負担している者が死亡した場合又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合，その他やむを得ない事情があると認められる場合には，本人の願い出（必要書類提出）に基づき選考の上，定められた期限まで徴収を猶予することがあります。

③ 特別な事情による免除

入学前1年以内に，本人の学費を主として負担している者が死亡した場合又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合，本人の願い出（必要書類提出）に基づき選考の上，入学料や授業料の一部又は全額を免除することがあります。

(4) その他の経費（令和8年4月現在）

① 学生教育研究災害傷害保険料（賠償責任保険含む） 4,080円（4年間分）

② 後援会，同窓会費等の諸会費 60,000円

10 合格者の留意事項

(1) 本学の総合型選抜Ⅰに合格した者は，原則として入学辞退は認められません。

(2) 本学の総合型選抜Ⅰに合格し入学手続を完了した者は，本学及び他の国公立大学を受験しても，その大学の合格者とはなりません（特別の事情により入学辞退を認められた者を除く。）。

(3) 入学手続を完了した者が特別の事情により入学を辞退する場合は，入学手続完了者本人が令和9年2月17日（水）までに岩手大学長あてに「総合型選抜入学辞退願」を提出し，許可を得なければなりません。

(4) 入学前教育について

合格者へは入学前の学習支援として，高等学校教育への影響を配慮しながら，本学からレポート等の課題を課し，指導を行います。

なお，詳細は，合格者本人に通知します。

●大学入学共通テストの受験について

本総合型選抜Ⅰでは，大学入学共通テストは課しませんが，合格後の学習継続と本学入学後の学修に支障をきたさないために，大学入学共通テストを受験することを強く推奨します。

Ⅳ 総合型選抜Ⅱ【女子枠】（大学入学共通テストを課す）

1 趣旨

電気電子・情報通信コース及び機械知能航空コースでは、入学者受入の方針に基づき、多様な観点から総合的に評価する総合型選抜Ⅱを実施します。

2 募集人員

コース名	募集人員
電気電子・情報通信コース	2名
機械知能航空コース	4名

3 出願資格及び出願要件

(1) 出願資格

戸籍上の性別が「女性」であり、次の各号のいずれかに該当する者。

- ① 高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。以下同じ。）を卒業した者及び令和9年3月に卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月に修了見込みの者
- ③ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和9年3月31日までに合格見込みの者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含みます。）で、令和9年3月31日までに18歳に達する者

(2) 出願要件

次の①②を全て満たす者

- ① 電気電子・情報通信分野ないし機械知能航空分野に強い関心と意欲を持ち、専門を学ぶにふさわしい基礎学力と、自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を有すること。
- ② 出身学校において、次のア、イいずれかの科目を履修している者
ア「物理基礎、化学基礎、生物基礎」から1科目以上、かつ「物理、化学」から1科目以上
イ「理数物理、理数化学」
※出願資格③で出願する者は、高等学校卒業程度認定試験で「物理基礎、化学基礎、生物基礎」の3科目全てに合格している者とする。

（注）別日程で実施するクリエイティブ情報コースの総合型選抜Ⅱとは併願できません。

4 出願手続

(1) 出願方法

志願者は、(4)の出願書類等を取りそろえ、所定の出願書類等提出用封筒に入れて「速達書留」で郵送してください。「速達書留」はポスト投函では利用できませんので、必ず郵便局窓口で手続をしてください。なお、持参による出願は認めません。

(2) 出願書類等送付先

岩手大学学務部入試課
〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

(3) 出願受付期間

令和8年9月1日（火）から9月4日（金）まで【必着】

出願書類の提出は郵送のみとします。郵送にかかる日数を十分に考慮し出願してください。

(4) 出願書類等

①志願票	・ 所定用の紙に志願者本人が記入してください。志願票は電算処理されますので、汚したり折り曲げたりしないでください。 ・ 23ページ以降の記入要領を参照してください。
②写真票・受験票・入学検定料納入確認票	・ 写真票には、写真（縦4cm×横3cm）を貼ってください。 ・ 太枠線内に、志願者本人が記入してください。 ・ 検定料17,000円（別途払込手数料がかかります。）を同封している所定の「払込取扱票」を使用し、必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください。（ATMは利用しないでください。） ・ 払込後、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を日付印欄の押印を確認の上、所定の欄に貼ってください。 ・ 検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。 ・ 災害救助法適用地域における志願者の検定料免除については、「(7)検定料免除」を確認してください。
③調査書	・ 文部科学省所定の様式で、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。
④受験票送付用	・ 所定の封筒に志願者本人のあて先を明記し、410円分の切手（速達料金）を貼ってください。郵便料金が改訂された場合は、料金改定後の郵便切手が必要になりますので注意してください。
⑤ラベル票	・ 所定のラベル票用紙に必要事項を志願者本人が記入してください。 ・ 26ページの記入要領を参照してください。
⑥高等学校卒業認定試験の合格成績証明書（出願資格③で出願する志願者のみ）	・ 文部科学省が作成し厳封されたものを提出してください。
⑦その他の書類	・ 検定料免除を申請する者は、検定料免除申請書と必要な書類をそろえて提出してください。

(5) 出願書類等提出上の注意

- ① 受理した出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。
- ② 出願書類等に次のような不備のあるものは受理しませんので、注意してください。
 - ア 記入漏れ、誤記入のあるもの
 - イ 検定料に不足のあるもの
 - ウ その他、提出すべき書類等が添付されていないもの
- ③ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

(6) 受験票の交付

出願書類が受理された志願者には、受験票を交付します。

受験票が令和8年9月17日（木）を過ぎても到着しない場合は、岩手大学入試課（☎019-621-6064）に問い合わせてください。

(7) 検定料免除

岩手大学では、災害救助法適用の災害により被災した方が、経済的な理由により大学進学を断念することがないように、検定料について免除措置を行います。出願手続の際に一緒に申請手続を行ってください。

申請手続等の詳細については、岩手大学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/index.html>）を確認の上、岩手大学学務部入試課（☎019-621-6064）に問い合わせてください。

5 選抜方法等

入学者の選抜は、面接試験及び学力検査により行います。まず、面接試験の成績により第1次選考を行います。次に、第1次選考合格者に対して、第1次選考（面接試験）と第2次選考（学力検査）の結果を用いて、総合的に合否判定を行います。

(1) 第1次選考（面接試験）

① 試験日程

9時までに試験場に集合してください。（27ページのⅨ 建物配置及び試験場案内図参照）

試 験 日	事 項	時 間	試 験 場
令和8年10月2日(金)	面接	9:30～	岩手大学理工学部

② 試験内容

出願時に提出する出願書類及び面接により、学修に対する適性と意欲を評価します。

③ 配点・評価基準

項 目	配 点	評 価 基 準
面接 (出願書類を含む)	200	出願書類では、それぞれのコースで専門を学ぶ上で必要とされる適性を評価します。面接では、「考察力・表現力・コミュニケーション能力」を評価します。また、岩手大学で学びたいことや、自身の将来像をふまえた志望動機について、論理的かつ明快に説明する能力を確認し、「関心・意欲」及び「主体性・協働性」について評価します。

④ 第1次選考結果の発表

受験者には郵便により選考結果通知書を送付するとともに、第1次選考合格者の受験番号を次により発表します。

選考結果発表の日時	発 表 方 法
令和8年11月2日(月) 13時	本学ウェブサイトによる発表 https://www.iwate-u.ac.jp

(2) 第2次選考（学力検査）

① 選考方法

大学入学共通テスト（6教科8科目）により、学力を評価します。

合否については、面接試験と学力検査（大学入学共通テスト）の結果を総合的に判定します。

② 大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

教科	科目名等	配点
国語	「国語」	200
地歴公民	「地理総合、地理探究」、 「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合/歴史総合/公共」、 「公共、倫理」、 「公共、政治・経済」 } から1	100
数学	「数学Ⅰ、数学A」	100
	「数学Ⅱ、数学B、数学C」	100
理科	「物理」、 「化学」、 「生物」 から2	200
外国語	「英語」（リスニングを含む）、 「ドイツ語」、 「フランス語」、 「中国語」、 「韓国語」 から1	200
情報	「情報Ⅰ」	100

※ 「地理歴史、公民」で2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。

※ 外国語の「英語」は、リーディング（100点満点）を160点満点に、リスニング（100点満点）を40点満点にそれぞれ換算後、合計した得点を利用します。

なお、リスニングを免除された者についてはリーディングを200点満点に換算した成績を利用します。また、「英語」以外の科目を受験した者については、筆記試験（200点満点）の成績をそのまま利用します。

※ 本学が指定する日までに、「大学入学共通テスト成績請求チケット」を岩手大学学務部入試課へ送付してください。送付されない場合は合否判定ができませんので注意してください。

6 面接試験受験上の注意

- (1) 「本学の受験票」は必ず携帯し、係員の請求があった場合は、提示してください。
- (2) 試験場には駐車場がありませんので、公共の交通機関を利用してください。
- (3) 試験場の下見は10月1日（木）としますが、建物の中に入ることはできません。
- (4) 試験場では携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類の使用は認めませんので、必ず電源を切ってください。試験時間中に、これらをカバン等にしまわず身につけていたりすると不正行為となることがあります。
- (5) 自然災害、悪天候等により、指示された時刻までに試験場に到着できない場合は、受験票に記載してある緊急時の問い合わせ先まで連絡してください。
- (6) 集合時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めますので、遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。
- (7) 試験場で不正行為を行った者や、監督者の指示に従わない者には退場を命じ、受験結果を全て無効とします。
- (8) 昼食は各自で用意し、受験者控室で食事をしてください。

7 面接試験における不正行為

- (1) 次のことをすると不正行為となります。

不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した岩手大学入学試験のすべての成績を無効とします。

- ① 志願票、写真票・受験票・入学検定料納入確認票、答案へ故意に虚偽の記入をすること。（写真票に本人以外の写真を貼ることや、答案に本人以外の名前・受験番号を記入する等）
- ② カンニングをすること。（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

- (2) (1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、(1)と同様です。

- ① 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に、携帯電話や時計の音（着信・アラーム等）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

8 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

合格発表の日時	発表方法
令和9年2月9日(火) 15時	本学ウェブサイトによる発表 https://www.iwate-u.ac.jp/

※ 合否の問い合わせには、一切応じません。

9 入学手続等の概要

入学手続等の概要は、次のとおりとし、詳細については合格者に送付する「入学手続のしおり」で指示します。

なお、入学手続は郵送のみとします。

(1) 入学手続締切期日

令和9年2月17日(水)【必着】

(2) 大学納付金(登録番号 T6400005002202 国立大学法人岩手大学)

① 入学料 282,000円(予定額) 非課税

② 授業料 年額 535,800円[前期分 267,900円 後期分 267,900円](予定額) 非課税

※ 上記納付金は予定額であり、入学時及び在学中に納付金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

(3) 入学料及び授業料の免除等制度

本学では、下記のとおり入学料及び授業料の免除等を実施しています。

詳細は本学ウェブサイト(<https://www.iwate-u.ac.jp/campus/fee/exemption.html>)をご覧ください。

① 高等教育の修学支援新制度による入学料免除と授業料免除

高等教育の修学支援新制度による入学料免除と授業料免除を実施します。

② 入学料の徴収猶予

経済的理由によって入学料の納入が納入期限までに困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、入学前1年以内に、本人の学費を主として負担している者が死亡した場合又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合には、本人の願い出(必要書類提出)に基づき選考の上、定められた期限まで徴収を猶予することがあります。

③ 特別な事情による免除

入学前1年以内に、本人の学費を主として負担している者が死亡した場合又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、本人の願い出(必要書類提出)に基づき選考の上、入学料の一部または全額を免除することがあります。

(4) その他経費(令和8年4月現在)

① 学生教育研究災害障害保険料(賠償責任保険含む) 4,080円(4年間分)

② 後援会、同窓会費等の諸会費 60,000円

※ 上記①の保険は、全員加入を原則としています。

10 合格者の留意事項

(1) 本学の総合型選抜Ⅱ(女子枠)に合格し入学手続を完了した者は、本学及び他の国公立大学を受験しても、その大学の合格者とはなりません(特別の事情により入学辞退を認められた者を除く。)

(2) 入学手続を完了した者が特別の事情により入学を辞退する場合は、入学手続完了者本人が令和9年2月17日(水)までに岩手大学長あてに「総合型選抜入学辞退願」を提出し、許可を得なければなりません。

V 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、令和8年8月3日（月）までに「事前相談について」（所定様式）を提出してください。

「事前相談について」（所定様式）は、本学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/general/handicapped.html>）からダウンロードしてください。

なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合がありますので、できるだけ早めに提出してください。

提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

		年 月 日	
岩 手 大 学 長 殿			
氏 名		(志願者との関係)	
住 所			
電話番号		— —	
事前相談について			
下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。			
記			
1 志願者氏名			
ふりがな 氏 名	男・女	生年月日	年 月 日生
現住所	〒 —	電話	— —
出身学校名		電話	— —
2 志望学部等名			
学部・学科等	学部	学科・課程	コース クラス
出願区分 (出願区分を○で囲む)	総合型Ⅰ	総合型Ⅱ	学校推薦型 私費外国人 前期日程 後期日程
3 障がいの種類・程度			
4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容			
5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容			
6 出身学校在学中にとられていた特別な配慮			
7 日常生活の状況			
8 添付書類			
(1) 医師の診断書			
(2) その他			
注1 出身学校関係者等が記入してください。			
注2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な配慮」については、詳細に記入してください。			
注3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記入しても構いません。			
注4 医師の診断書等の書類は、写しで構いませんので、必ず添付してください。			
注5 ※欄には記入しないでください。			
※ 大学記入欄			

Ⅵ 長期履修制度

職業を有しているなどの事情（注1）によって、修業年限である4年を超えて、一定の期間（最長6年まで）にわたり計画的に教育課程を履修し、卒業することを願い出た者には、審査の上許可することがあります。この制度の適用学生の授業料総額は、修業年限（4年）で卒業する学生が納める授業料総額と同額となります。なお、この制度の申請方法等は、合格者に別途通知します。

注1）該当者：① 職業を有している者（1日8時間週3日以上又は1日4時間週4日以上勤務者で6月以上の継続雇用者）

② 家事従事者又は育児にあたっている者

③ 前各号に該当しないが本人の収入で生計を維持している者

④ その他、本学が適当と認める者

注2）長期履修学生のための特別なカリキュラムは、原則として用意しません。

詳細については、岩手大学学務部学務課（☎019-621-6077）に問い合わせてください。

Ⅶ 個人情報の取り扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「岩手大学個人情報管理規則」に基づいて取り扱います。

1. 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④学生支援関係業務（奨学金案内・申請、学生寮案内等）を行うために利用します。

2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。

3. 上記1及び2の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。

については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

4. 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校コード、受験番号、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。

5. 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係業務（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係業務を行うために利用します。

VIII 出願書類等の記入要領

出願書類等は、このページ以降の記入要領等をよく読んで、志願票はHBのシャープペンシル(0.5mmしん)を、志願票以外の用紙は黒のボールペンを使用し、楷書で明確に、欄からはみ出さないように丁寧に記入してください。

ただし、※印の欄は記入しないでください。

誤って記入した場合は、修正液等は絶対に使用せず、以下の方法で修正してください。

- ① 志願票はプラスチック消しゴムで丁寧に消してから書き直してください。
- ② 志願票以外の用紙については、誤って記入した部分を二重線で抹消し、その上部余白に正しいものを記入してください。

1 志願票（総合型選抜Ⅰ）記入要領

- ◎ 志願票は、HBのシャープペンシル(0.5mmしん)を使用し、濃く、丁寧に枠をはみ出さないように「志願票の正しい書き方例」(以下正しい書き方例)(25ページ)を参照しながら記入してください。記入を誤った場合は、プラスチック消しゴムできれいに消してから正しく書き直してください。

① 志望学部・学科・コース

志望するコースを記入してください。また、志望するプログラムについて該当する方にチェックしてください。

② 学部・学科等コード

志望する学部・学科等コードは、26ページの学部・学科等コード表の該当するコードを正しい書き方例を参照しながら□の中に記入してください。

③ 氏名

氏名(略字等は用いないでください。)を漢字とカタカナで記入してください。姓と名の間を1マスあけて、丁寧に記入してください。

氏名の漢字表記は、電算処理のため、原則として、JIS第1水準および第2水準の文字で記入してください。

コンピュータで表記出来ない(上記JIS規格以外)漢字については、類似する漢字に置き換え、もしくはひらがな表記にて登録します。

(例)「吉岡」→「吉岡」

外国人志願者は、住民票または旅券(パスポート)に記載されているアルファベット氏名を記入してください。

④ 性別

該当する数字を正しい書き方例を参照しながら□の中に記入してください。

⑤ 生年月日

生年月日を正しい書き方例を参照しながら□の中に記入してください。数字が1桁の場合は、右側に記入し、左側には、「0」(ゼロ)を記入してください。

⑥ 学校名

学校名を記入し、該当する文字を○で囲んでください。ふりがなは、ひらがなで記入してください。

⑦ 高等学校コード

7月下旬に本学ウェブサイト(<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/undergraduate/info.html>)に「高等学校等コード表」を掲載しますので、該当するコードを確認の上、正しい書き方例を参照しながら□の中に記入してください。

⑧ 高等学校等の課程・学科

該当する区分の数字を正しい書き方例を参照しながら□の中に記入してください。学科が7(1～6以外の学科)の場合は、当該学科名を記入してください。

⑨ 志願者の略歴

高等学校等名、入学及び卒業(見込)年月を記入してください。

高等専門学校3年次(修了見込者)は、「1」を記入してください。

□の中に記入する数字については、正しい書き方例を参照してください。

⑩ 連絡先

志願者及び保護者の住所・電話番号等を記入してください。電話番号は、本人と連絡がとれる番号を記入してください。

出願後、連絡先に変更が生じた場合は、速やかに岩手大学学務部入試課へ届け出てください。

令和9年度岩手大学総合型選抜Ⅰ志願票

岩手大学の個人情報の取り扱いに同意し、志願します。
HBのシャープペンシル（0.5mm しん）で記入してください。

※

※大学記入欄												
① 志望学部・ 学科・コース	理 工 学 部										理 工 学 科	
	電気電子・情報通信 コース											
	☒ 地域協創ものづくりプログラム ☐ 地域防災・まちづくりプログラム											
② 学部・学科等 コード	L E		募集要項 26 ページを確認の上、記入してください。									
③ 氏 名	*姓と名の間を1マスあけ、丁寧に記入してください。											
	カ ナ	か ン タ イ タ ロ ウ										
	漢 字	岩 大 太 郎										
④ 性 別	1 男 2 女		1	⑤ 生年月日	2 0 0 8 年 0 6 月 0 1 日							
⑥ 学 校 名	ふりがな もりおか だいなな											
	国立 ☒ 公立 私立	盛岡第七								⑦ 高等学校 コード	9 8 7 6 5 C	
	⑦ ☒ 高等学校 ☐ 中等教育学校 ☐ 高等専門学校											
⑧ 高等学校等の 課程・学科	1 全日制 2 定時制 3 通信制 4 その他											
	1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 総合学科 7 1～6 以外の学科											
	7 の場合の学科名											
⑨ 志願者の略歴	2024 年 4 月 盛岡第七											
	⑨ ☒ 高等学校 ☐ 中等教育学校 ☐ 高等専門学校											
	2027 年 3 月 盛岡第七 ⑨ ☒ 高等学校 ☐ 中等教育学校 ☐ 高等専門学校											
⑩ 連 絡 先	志願者住所等											
	ふりがな いわて もりおか レ ミネ カミどおり											
	(〒020-8550)											
	岩手 都・道・府・県 盛岡市北上通 1-2-3											
	電話番号 (019)-(621)-(6064)											
	携帯電話番号 (090)-(△△△△)-(□□□□)											
	保護者住所等											
ふりがな												
(〒 -)												
都・道・府・県 同 上												
電話番号 (019)-(621)-(6064)												
携帯電話番号 (090)-(××××)-(□□□□)												
保 護 者 氏 名		岩 大 好					志願者との続柄		父			

2 志願票（総合型選抜Ⅱ）記入要領

- ◎ 志願票は、HBのシャープペンシル（0.5mmしん）を使用し、濃く、丁寧に枠をはみ出さないように「志願票の正しい書き方例」（以下正しい書き方例）（25ページ）を参照しながら記入してください。記入を誤った場合は、プラスチック消しゴムできれいに消してから正しく書き直してください。

① 志望学部・学科・コース

志望するコースを記入し、該当するものにチェックしてください。

② 学部・学科等コード

志望する学部・学科等コードは、26ページの学部・学科等コード表の該当するコードを正しい書き方例を参照しながら□の中に記入してください。

③ 氏名

氏名（略字等は用いないでください。）を漢字とカタカナで記入してください。姓と名の間を1マスあけて、丁寧に記入してください。

氏名の漢字表記は、電算処理のため、原則として、JIS第1水準および第2水準の文字で記入してください。

コンピュータで表記出来ない（上記JIS規格以外）漢字については、類似する漢字に置き換え、もしくはひらがな表記にて登録します。

（例）「吉岡」→「吉岡」

外国人志願者は、住民票または旅券（パスポート）に記載されているアルファベット氏名を記入してください。

④ 性別

該当する数字を正しい書き方例を参照しながら□の中に記入してください。

⑤ 生年月日

生年月日を正しい書き方例を参照しながら□の中に記入してください。数字が1桁の場合は、右側に記入し、左側には、「0」（ゼロ）を記入してください。

⑥ 学校名

学校名を記入し、該当する文字を○で囲んでください。ふりがなは、ひらがなで記入してください。

⑦ 高等学校コード

7月下旬に本学ウェブサイト（<https://www.iwate-u.ac.jp/admission/undergraduate/info.html>）に「高等学校等コード表」を掲載しますので、該当するコードを確認の上、正しい書き方例を参照しながら□の中に記入してください。

⑧ 高等学校等の課程・学科

該当する区分の数字を正しい書き方例を参照しながら□の中に記入してください。学科が7（1～6以外の学科）の場合は、当該学科名を記入してください。

⑨ 志願者の略歴

高等学校等名、入学及び卒業（見込）年月を記入してください。

高等専門学校3年次（修了見込者）は、「1」を記入してください。

□の中に記入する数字については、正しい書き方例を参照してください。

⑩ 連絡先

志願者及び保護者の住所・電話番号等を記入してください。電話番号は、本人と連絡がとれる番号を記入してください。

出願後、連絡先に変更が生じた場合は、速やかに岩手大学学務部入試課へ届け出てください。

令和9年度岩手大学総合型選抜Ⅱ志願票

岩手大学の個人情報の取り扱いに同意し、志願します。
HBのシャープペンシル(0.5mmしん)で記入してください。

※

※大学記入欄		
① 志望学部・ 学科・コース	理 工 学 部 理 工 学 科 機械知能航空 コース ☐電気電子・情報通信コース ☒機械知能航空コース	
② 学部・学科等 コード	L F 募集要項 26 ページを確認の上、記入してください。	
③ 氏 名	*姓と名の間を1マスあけ、丁寧に記入してください。 カ ナ か ン ダ イ ハ ナ コ 漢 字 岩 大 花 子	
④ 性 別	1 男 2 女 2 ⑤ 生年月日 2 0 0 8 年 0 6 月 0 1 日	
⑥ 学 校 名	ふりがな もり おか だいなな 国立 公立 私立 盛岡第七 高等学校 中等教育学校 高等専門学校 ⑦ 高等学校 コード 9 8 7 6 5 C	
⑧ 高等学校等の 課程・学科	1 全日制 2 定時制 3 通信制 4 その他 1 普通科 2 理数科 3 農業科 4 工業科 5 商業科 6 総合学科 7 1～6 以外の学科 7 の場合の学科名 1 1	
⑨ 志願者の略歴	2024年4月 盛岡第七 高等学校 中等教育学校 高等専門学校 入 学 2027年3月 盛岡第七 高等学校 中等教育学校 高等専門学校 1 卒業見込 2 卒業	
⑩ 連 絡 先	志願者住所等 ふりがな いわて もり おか だいなな (〒020-8550) 岩手 都・道・府・県 盛岡市北上通1-2-3 電話番号(019)-(621)-(6064) 携帯電話番号(090)-(△△△△)-(□□□□) 保護者住所等 ふりがな (〒 -) 都・道・府・県 同上 電話番号(019)-(621)-(6064) 携帯電話番号(090)-(XXXX)-(□□□□) 保護者氏名 岩大 好 志願者との続柄 父	

志願票の正しい書き方例

正しい書き方例



個々の注意点（○印の部分は、特に注意してください。）

(1) 数字

注 0	輪を大きく円にしない	○, ○ 等は不可	注 5	縦線を突き出す	5, 5 等は不可
1	垂直にまっすぐに	/, 1 等は不可	6	線を長く輪はつなぐ	6, 6 等は不可
2	下の横線を真横に	2, 2 等は不可	7	カギをつけ脚は垂直に	>, 7 等は不可
注 3	中央を突き出す	3, 3 等は不可	注 8	交点を X に下の円を大きく	8, 8 等は不可
4	線は十分長く	4, 4 等は不可	9	輪はつなぎ縦線は長くのばす	9, 9 等は不可

(2) 英文字

A	線をつなぎ足は左右対称に	A, A 等は不可	M	縦線は均等にくぼみは中央に	M, M 等は不可
注 B	間隔は均等に線を突き出す	B, B 等は不可	N	縦線は平行につなぎをはみださない	N, N 等は不可
注 C	湾を深く傾けない	C, C 等は不可	P	曲線は上部から中央まで	P, P 等は不可
注 D	線をつなぎ横線を突き出す	D, D 等は不可	Q	輪を大きく下部の曲線もなめらかに	Q, Q 等は不可
E	バランスよく線を突き出さない	E, E 等は不可	R	線をつなぎ斜線は縦線の中央から	R, R 等は不可
F	上の線を長く飾りをつけない	F, F 等は不可	注 S	終端にカギをつける	S, S 等は不可
注 G	線をつなぎ中央に間隔をあける	G, G 等は不可	T	左右均等に飾りをつけない	T, T 等は不可
H	縦線は平行に横線はたるまない	H, H 等は不可	U	横線と縦線は垂直に	U, U 等は不可
J	横線はまっすぐ曲線はなめらかに	J, J 等は不可	X	線の長さは均等に傾きは 45 度	X, X 等は不可
K	分岐点は縦線の中央に交点をつける	K, K 等は不可	Y	くぼみをはっきりと縦線は長く	Y, Y 等は不可
L	縦線と横線を直角にする	L, L 等は不可	Z	斜線の中央に横線をつける	Z, Z 等は不可

1 志願票は、次の要領で記入してください。

- (1) ※印の欄は記入しないでください。
- (2) 志願票の□の部分には、上記の「正しい書き方例」にならって丁寧に英数字を記入してください。
- (3) 漢字は正しく楷書で、記入してください。

2 志願票は、必ず、HBのシャープペンシル（0.5mmしん）で濃く丁寧に記入してください。

3 志願票に記入する文字は、「正しい書き方例」によります。

これ以外の書き方では「光学式文字読取装置（OCR装置）」で読みとれませんので注意してください。

4 誤って記入した場合は、プラスチック消しゴムで丁寧に消してから書き直してください。

5 志願票は、絶対に折り曲げたり汚したりしないでください。

6 志願票の記入事項と記号（英数字）の記入内容を必ず一致させてください。異なっている場合は、記号（英数字）を正しいものとして処理しますので注意してください。

3 写真票・受験票・入学検定料納入確認票記入要領

太線枠内に、志願者氏名（ふりがなは、ひらがなで記入してください。）を記入してください。

4 ラベル票記入要領

① 出願受付用

志望プログラム及びコース名，志願者氏名（ふりがなは，ひらがなで記入してください。），出身学校名を記入してください。

② 通知用

選考結果通知書及び合格通知書を受け取る場所とし，郵便番号，住所，志願者氏名を記入してください。

なお，出願書類提出後に変更があった場合は，速やかに岩手大学学務部入試課へ届け出てください。

5 学部・学科等コード

学 部	プログラム・コース		学部・学科等コード
理 工 学 部	地域協創ものづくりプログラム	電気電子・情報通信コース	LE
		機械知能航空コース	LF
	地域防災・まちづくりプログラム	社会基盤・環境工学コース	LG
	総合型選抜Ⅱ【女子枠】	電気電子・情報通信コース	LE
		機械知能航空コース	LF

Ⅸ 建物配置及び試験場案内図

キャンパスマップ

全体図はこちら



学 部	盛岡駅前(バスターミナル11番のりば)からの交通機関
人文社会科学部 教 育 学 部 農 学 部 獣 医 学 部	・岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き 「岩手大学前」下車 ・岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き 「岩手大学前」下車
理 工 学 部	・岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き 「上田四丁目」下車 ・岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き 「理工学部東口」下車

※ 本町、山岸、洞清水経由のバスには乗車しないでください。

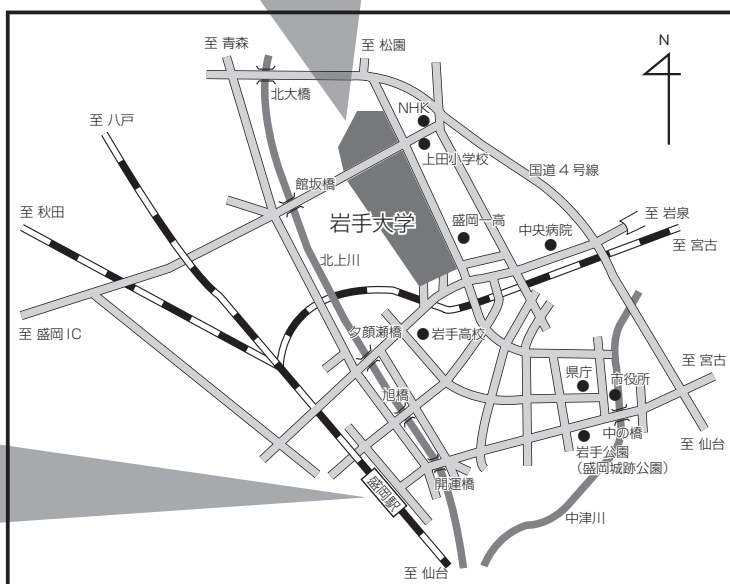
注1) 盛岡駅から約2km 徒歩約30分です。

注2) タクシー利用の場合

盛岡駅「タクシーのりば」から約10分です。

注3) 盛岡駅行き(帰り)のバス停については、上記の案内図を参照してください。

盛岡駅東口バスののりば案内図



岩手大学への各種問い合わせについては下記により行ってください。

問い合わせ時間等 月曜日から金曜日 9時00分から17時00分まで

※ただし、祝日、全学休業日(8/10～8/17, 12/28～1/3)
は除きます。

★入学試験に関すること

入学試験等に関する問い合わせは、志願者本人が行ってください。

岩手大学学務部入試課

☎ 019-621-6064

★奨学金（日本学生支援機構等）に関すること

岩手大学学務部学生支援課

☎ 019-621-6062

★入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

岩手大学学務部学生支援課

☎ 019-621-6506

☎ 019-621-6882

★学生寮に関すること

岩手大学学務部学生支援課

☎ 019-621-6060

★入学料及び授業料納入に関すること

岩手大学法人運営部経理課

☎ 019-621-6031

岩手大学ウェブサイトアドレス <https://www.iwate-u.ac.jp/>